# wakasawan 親子で動画をつくろう！

## １．参加者

| 募集人数 | 応募者数 | 参加決定数 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 50 | 18 | 18 | 16（宿泊5家族13名／日帰1家族3名） |

## ２．事業内容（概要）

◆ねらい

・携帯電話等のモバイル通信機器を利用した動画作成を通して、親子で携帯電話などのICT機器やSNS の知識・正しい活用方法を学ぶ。

・若狭湾の自然を題材にした動画を親子で作成することを通して、親子での体験活動の共有や、自然の豊かさを感じるとともに、子どもの創造性を高める。

◆期日・期間

平成 31 年 3 月 9 日（土）～3 月 10 日（日）　1 泊 2 日

◆連携機関

福井県教育委員会、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、小浜市教育委員会、若狭町教育員会、NHK福井放送局、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜
WDA若狭小浜ドローン協会、株式会社エムディエス

◆参加者分析

福井県嶺南地域及び県外では京都府舞鶴市、滋賀県高島市の対象全児童に届くように学校経由で配布した。他事業であれば、舞鶴市、高島市の参加が多いが、敦賀市、小浜市、美浜町、福井市の県内のみであった。

初参加者が２組であり、学校経由での配布を目にしたものである。これ以外の参加者は、過去事業の参加者にもチラシを送付しており、その中からの参加者である。

表１．応募者及び参加者の詳細

| 市町 | 福井市 | 敦賀市 | 小浜市 | 美浜町 |
|---|---|---|---|---|
| 家族数 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 参加者数 | 2 | 6 | 5 | 3 |

◆企画のポイント　（日程・特色など）

・いわゆるネット依存対応事業では、自然体験活動に触れることで、いかに携帯電話や SNS と離れさせるか、の視点からプログラムが考えられるが、本事業では、現代の生活の中で無くてはならない存在となっているモバイル機器や SNS に触れさせ、親子で正しい使い方を学ぶ視点でプログラムを組み立てた。

・動画を作成する際の題材としての若狭湾の自然を取り上げること、動画素材の一つとしてドローンでの撮影素材を使用することを通して、若狭湾青少年自然の家で行うことの意義を持たせることと、親子で楽しめる事業にすることができた。

・モバイル機器を使用した動画編集作業を通して、子供の創造性を育てることも狙いとした。

◆運営のポイント

・若狭湾の自然の中で、親子でのんびり過ごすことができ、時間に追われることがないように時間は余裕を持たせた構成とした。

・撮影し作成する動画のイメージができるように最初にテーマを設定（若狭湾で親子での

んびり過ごす週末）し、また職員が事前に１分間動画を作成して視聴していただいた。

◆安全管理について

・行動範囲を制限し、職員をそれぞれ目が届く範囲に配置し無線で状況のやり取りを行いながら、水の事故やハイキングコースでの迷い事故などがないように配慮した。

## ３．アンケート結果

＜参加者＞

| 項目 | ４ | ３ | ２ | １ | 未記入 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業全体をとおしてどうでしたか | 100% | 0% | 0% | 0% | |

４満足　３やや満足　２やや不満　１不満

・「満足」が１００％となった。
・親子でのんびりすることを楽しめたとの声がみられた。
・天候にも恵まれたことから海のロケーションも素晴らしく、印象が良かったと思われる。
・ねらいとして設定した、モバイル機器や SNS との安全で正しい付き合い方を学び考えることの大事さを感じたとの声があった。

## ４．成果と課題

（１）成果

・天候にも恵まれ、穏やかでロケーションの素晴らしい海をみながら、特に何を体験するでもないが、自由に思うように親子でのんびり過ごす姿が見られたことは最大の成果であった。
・定員を５０名に設定していたが結果的に１６名となった。しかし、人数が少なくなったことで、ドローン操作体験なども内容を濃く実施できたこと、自由な行動範囲の中での安全管理を考えるとちょうどいい参加者数ではなかったかと考える。
・クラフトマルシェで連携したＷＤＡ若狭小浜ドローン協会の方々に全面協力をいただき、事業が進められた。今後も自然体験活動とドローン体験の連携での事業展開に期待ができる。

（２）課題（特に運営面で）

・開催期日として３月は学校関係や地域の行事なども多いと思われる。ただ、閑散期の利用促進、天候などを考慮するとこの日程が良いと思われるため継続して検討が必要である。
・目的の一つとしていた「モバイル機器や SNS との安全でただし付き合い方を学び考える」について、親はその重要性を理解したと考えられるが、子供にそのことが伝わったかどうかの測定ができなかった。
・広報の際、メディアを活用することを一つの目標とし、NHK 福井放送局とケーブルテレビ若狭小浜の公演をいただき、取材依頼もお願いをしていたが、当日の取材を受けることができなかった。どのような働きかけが有効であるかを今後も考えていく必要がある。

## ５．活動の様子　写真（数枚）

パソコンやスマートフォンなどは、
完成品として売られています。
でも、
世の中には完成品じゃないのに
売られている物が多くあります。
どんなものが未完成品で
売られているでしょうか？